2018年11月号「vol.101」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

2021年の「ねんりんピック」は11月6～9日に 神奈川県がビッグイベントへの準備状況報告

神奈川県では来年2019年のラグビーワールドカップ日本大会（9月20～11月2日、全国12会場で開催）の決勝戦が行われ、2020年の東京オリンピック（7月22日・福島でソフトボール試合、24日に開会式～8月9日に閉会式）・パラリンピック（8月25～9月6日）には一部の競技の会場となり、2021年には全国の60歳以上の人たちのスポーツを中心とした交流の行事・全国健康福祉祭（ねんりんピック）の初の神奈川大会が開かれます。第34回全国健康福祉祭の開催の会期が2021年11月6日から9日までの4日間と決まり、競技種目は2020年の岐阜大会と同じく史上最大規模のものになります。

【ラグビーワールドカップ日本大会】

大会は札幌から熊本まで全国の12カ所で開かれますが、地元の横浜国際総合競技場では（各組内での）プール戦、準決勝、決勝合わせて7試合が行われます。県や横浜市では大会を盛り上げるためのさまざまなイベントを開催していますが、10月27日には強豪国のニュージーランドとオーストラリアが80年以上にわたって対戦してきたブレディスローカップが同競技場で開かれ、本場のラグビーが披露されました。チケット販売は今年3～4月に開催都市市民を対象にした先行抽選販売され、9月19～11月12日には一般抽選販売が行われており、ラストチャンスの一般先着販売が来年1月19日から行われます。

【東京オリンピック・パラリンピック】

オリンピック時、神奈川県内では江ノ島でのセーリングなど4競技が行われますが、県内での聖火リレーの日程が6月29日から7月1日と決まりました。ルートなどについては設置する聖火リレー県実行委がオリンピック組織委と検討を進めていくということです。

【第34回ねんりんピック】

昭和63（1988）年の兵庫県での第1回大会以来毎年、全国の都道府県持ち回りで開かれており、2021年には神奈川県で初めて開催されます。正式名称は「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」。期間は11月6～9日、行われる31種目の各会場となる市町が先ごろ決まりました。種目は卓球、テニス、ゲートボールなどスポーツ交流10種目、サッカー、太極拳などふれあいスポーツ交流が17種目、囲碁、俳句など文化交流が4種目。大会と併せスポーツ吹き矢、パッチワーク、民謡などの9種目も行われます。観客も含めた参加人員は延べ約60万人（選手・役員は約1万人）に上ると見込まれています。

ねんりんピック シンボルマーク

コレが言いたい！

2021年に開催される第34回ねんりんピックは、横浜国際総合競技場で総合開会式が行われます。また、期間中は26市町で36種目が開催され、選手以外にも多くの観客が県外から訪れる事が見込まれます。ラグビーワールドカップやオリ・パラで訪れる事が予測される訪日観光客とは異なる視点で神奈川県の魅力を伝える観光施策を考える必要があります。

今月のひと言

10月15日から11月30日まで神奈川県では「秋のかながわ献血キャンペーン」を実施しています。県では一日約900人の献血が必要ですが、平成29年度では約29万8千人（計画の96.5%）。安定的に血液製剤を届けるために献血にご協力ください。横浜駅西口・東口など県内には8か所の献血ルームがあります。

磯子 あれ？これ？

馬頭観世音碑（栗木1-33）

笹下釜利谷道路、JR根岸線高架から150mほど上大岡方面に進むと右斜めに入る古道があります。この通りは鎌倉時代「かねさわ道」といわれ、古道を入ってすぐ右側に、「馬頭観世音」と刻んだ高さ2m位の碑があり台座には「嘉栗」と刻まれています。

文献・資料は残っていませんが、この馬頭観世音碑が建てられる前にはこれとは異なる馬頭観音像があったそうです。

現在の碑は比較的新しいもので10数年前に建てられたものと思われます。この碑のルーツは栗木村の早川嘉市郎、三次郎が明治41（1908）年に建てたものです。二人は栗木村の兄弟で、中区日ノ出町で「栗嘉運送」を営み、明治から大正にかけて馬50頭、牛50頭ほどを保有していて、横浜で一番大きな陸送業者でした。馬頭観音像が建てられたのは馬の供養や、交通の安全を願ってのものと思われます。

活動報告

10月23日（火）、委員長を務める「ともに生きる社会推進特別委員会」で、津久井やまゆり園芹が谷園舎と「カフェベーカリーぷかぷか」を視察しました。津久井やまゆり園芹が谷園舎は、2年前の津久井やまゆり園の事件を受け（旧）県立知的障がい者施設「ひばりが丘学園」へ仮移転したものです。現在、利用者の意思を尊重し可能な限り意思が反映された生活が送れるよう支援を進めています。

「カフェベーカリーぷかぷか」は、地域の方々とのふれあいを大切にした就労継続支援B型の事業所です。「自分たちと違う人間を排除するのではなく、違った人たちがいた方が社会の幅が広がり豊かになる」という考えもと活動を行っています。

金澤祥子さんが揮毫し、津久井やまゆり園に寄贈した書

歩行が困難な方の
リハビリ用「足こぎ車いす」

カフェベーカリーぷかぷか前にて

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月　県議会議員2期目当選
- ●産業労働常任委員会委員
- ●ともに生きる社会推進特別委員会委員長
- ●美しい環境づくり推進協議会委員
- ●政務調査会副会長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600